

カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者の方 300 円

開催日 2022 年 7 月 1 日、8 日、14 日、15 日、22 日、27 日、29 日

★1 日 14:00～17:00 「おやつのはん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのココアクッキー、手作りわらび餅、麦茶、カルピス

参加者 こども 5 名 保護者の方 2 名

★8 日 14:00～17:00 「おやつのはん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのココアクッキー、手作りフルグラのクッキー、手作りわらび餅、麦茶、カルピス

参加者 こども 10 名 保護者の方 4 名

★14 日 15:00～18:00 「臨時のフード・パントリー」

サポーター様より新鮮な朝採れとうもろこし 14 本を頂きました

参加者 6 世帯

★15 日 14:00～17:00 「おやつのはん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのソフトクッキー、手作りチョコクッキー、手作りわらび餅、麦茶、カルピス

参加者 こども 10名 保護者の方 1名

★22日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのソフトクッキー、手作りチョコクッキー、手作りフルグラのココアクッキー、手作りわらび餅、手作りカルピスゼリー、麦茶、カルピス

参加者 こども 11名 保護者の方 3名

★27日 11:30～19:30 「カレーの日」 （コロナ対策で予約制）

食事 チキンキーマカレー、わかめ春雨スープ、手作り梅ジュース

※卵、乳、小麦粉は不使用

配布 お米、パックご飯、とろろこんぶ、片栗粉、フリーズドライ味噌汁、レトルトスープ、コアラのマーチ、たべっ子どうぶつ、おにぎりせんべい、するめ、ギンビスアスパラ、キャベツ太郎、プリングルス、ホットケーキミックス、スティックメイト、お茶、コーヒー、食用油、ジャム、桃瓶詰め、しょうゆ、ハーブティ、パンの缶詰、甘みあっさりフルーツ、ホームパイ、ビスコ、星たべよ、ぷっちょ、キャンディ、生理用品、お茶っ葉、ドレッシング、ハンドクリン、フルーツジュース、野菜ジュース、カルピス、ポケモンの絵日記帳、LION こども歯ブラシセット

参加者 こども 21名 保護者の方 15名

★29日 14:00～17:00 「おやつのかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのソフトクッキー、手作りフルグラのココアクッキー、手作りバナナマフィン、手作りわらび餅、カルピス、麦茶

参加者 こども 12名 保護者の方 4名

ご支援 お米 10kg X 2袋、5kg、1合=6名、2合=1名

フリーズドライ味噌汁6袋、片栗粉、ホットケーキミックス4袋、ステックメイト1箱、とろろ昆布1袋、春雨1袋、レトルトスープ14袋、コーヒー6つ・お茶ジュース10本、ドレッシング2本、紅花紬2本、ジャム6瓶、黄桃瓶詰め2瓶、しょうゆ1本、ハーブティ2箱、パン缶詰1缶、スナック菓子3つ、生理用品16個、カルピス原液7本、絵本5冊、するめ50袋、ポケモンの絵日記帳50冊、麦茶2Lペット6本、塩分タブレット6袋、とうもろこし14本、パックご飯3個、ぷっちょ2袋、小麦粉、歯磨きセット20個、うまい棒2本、ミニドーナツ2つ、味付け海苔6袋、カロリーメイト20箱
缶バッジ 1個300円、 寄付金 3千円

今月は店内飲食と持ち帰りをあわせて、延べ人数こども69名と保護者35名で合計104名の参加がありました。配布した物は、お米26kg、乾物などの食

品、お茶やジュース類、お菓子、ハンドクリン、LION 歯磨きセット、ポケモンの絵日記帳、生理用品などを参加者に配布しました。フードドライブの活動も定着しつつあり、毎月多くの食品を寄贈していただけています。私たちのフード・パントリーはこども食堂の参加者を中心にしています。物価上昇で家計が大変だという声を多く聞くようになりました。配布している食品などが、少しでも家計の足しになれば幸いです。

今月も個人のサポーター様の他に、フードバンクのセカンドハーベスト京都さんからの食品や日用品などの寄贈や寄付金をいただきました。

カゴメみらいやさい財団の助成事業に採択されており、引き続き「カレーの日」「おやつのはじかん」とも、食材購入費の支援を活用でき、安定した運営につながっています。

こどもたちからは、夏休みの話題がよく出てきます。それだけ楽しみにしているのが伝わってきますが、昨今の学校や保育所など、こどもの間でコロナの感染が広まっており、参加者の中にも濃厚接触や学級閉鎖などの影響が出てきています。行動制限もなく、こどもたちも楽しみにしている夏休みですが、感染の拡大がどのようにになっていくか、保護者もとても心配しています。

私たちのこども食堂でも、他のこども食堂の様子を参考に、夏休みのイベントをするか話し合っていました。実施は見送ることになりました。クラスターを出さず、スタッフも感染せず、安全にこども食堂を継続することを第一に、

引き続き感染対策をしながら運営していきます。

今月も、コロナ緊急支援として、コロナ濃厚接触になり、家に食料がなく外出できない家庭に、手元にある食材をお届けしました。

感染が拡大すると、フードバンクに食材が集まりにくくなる一方、物資を必要とする人は増えるという状況に、私たちも不安を感じています。単発でも継続でも、食材や物資を支援してくださっている方々には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

来月も夏休み中の開催が続くため、楽しみにしている子どもたちが多くいますので、主催する私たちがコロナ感染しないように注意しながら行動したいと思います。

カーヤこども食堂運営委員会

木村